

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語コミュニケーション ⅠA(0068)	
科目基礎情報							
科目番号		1Z22		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		授業で配布する教材とプリント					
担当教員		阿部 恵					
到達目標							
中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。実用英語検定準2級合格をめざす。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、積極的に身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。		中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。		中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、支援を受けながら身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 DP6 異文化理解とコミュニケーション能力							
教育方法等							
概要		【開講学期】春学期週2時間、夏学期週2時間 中学校での既習の語彙、文型、文法事項をもとに、日常生活・学校生活などでの基本的なコミュニケーションができる力を養う。さらに、英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけ、その背景にある文化などを理解する。					
授業の進め方・方法		聞く・話すことに重点がおかれ、ペア・ワークやグループ・ワークなどの活動で、英語で積極的に発言することがもめられる。英語のネイティブ・スピーカーの先生から英語やイントネーションの指導を受ける。					
注意点		英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする積極的な態度が望まれる。英和・和英辞書は毎時間必ず持参しなければならない。授業での課題以外にもテレビ、ラジオ、インターネットなどをとおして、英語を聞いたり読んだりするなど、自習にも努める必要がある。実用英語検定準2級合格をめざして、授業以外でも学習することが求められる。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、授業に関する説明、英語で自己紹介		既習英語を使って自己紹介ができる。		
		2週	オンライン英語学習の説明		授業以外でオンラインを活用して自ら英語学習に取り組むことができる。		
		3週	オンライン英語学習課題 1		学校の科目や時間割を説明できる。		
		4週	オンライン英語学習課題 2		学校の行事などについて説明できる。		
		5週	オンライン英語学習課題 3		自分の町について既習した語彙や文法を使ってまとめて書くことができる。		
		6週	オンライン英語学習課題 4		同上		
		7週	ショートプレゼンテーション		自分の町について既習した語彙や文法を使ってショートプレゼンテーションができる。		
		8週	ショートプレゼンテーション		同上		
	2ndQ	9週	オンライン英語学習課題 6		与えられた課題について、感想をまとめることができる。		
		10週	オンライン英語学習課題 7		同上		
		11週	オンライン英語学習課題 8		与えられた課題について、意見交換をすることができる。		
		12週	オンライン英語学習課題 9		同上		
		13週	オンライン英語学習課題 10		同上		
		14週	ショートプレゼンテーション		与えられた課題について、ショートプレゼンテーションができる		
		15週	ショートプレゼンテーション		同上		
		16週	到達度試験		試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		2	

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	
評価割合						
		試験	課題	プレゼンテーション等	合計	
総合評価割合		60	20	20	100	
基礎的能力		60	20	20	100	
専門的能力		0	0	0	0	
分野横断的能力		0	0	0	0	